

## 東京歌会（第五十五回）

平成二十九年五月十八日（木）、会場・文京シビックセンター三階A会議室。詠草は各二首八首。出席者四名（大石久美、小野澤繁雄、林博子、松井淑子）。

こんにちは挨拶すれど中国の人とおほしき住人黙す

布宮慈子

よくわかる場面で、その通りとも。読みは、黙（もだ）す、か。変換するのは、黙（もく）する。住人なればこそ挨拶をしなければと思うのだ。この黙す、が効いている。

倦怠と騒立つところ 碧空に身を投げたしよ黄金週間

林 博子

碧空（あおぞら）。黄金週間、といういい方がいい。やや反語的につかわれた。上二句、で云われる気分が、長休みではひとつの納得で、身を投げたしよ、はその展開。いい得ている。

長々とまた盛んなる湯づかいに久々にきて子がゆあみする

小野澤繁雄

三句、湯づかいに、がいい。子の様子が眼にうかぶようだ。

二十にならぬわが師の爆死ききたるはその小学校に九歳なりき

中川禮子

二十（にじゅう）。下句の、その小学校に九歳だったのは、作者。先生が二十歳にとどいていないのは、そのころ（戦時中）の事情があるか。爆死は、英訳からは、空襲にあったようだ。詠みぶりは、やや込み入っている。心にのこる歌。

## 東京歌会（第五十六回）

六月十五日（木）、会場・文京シビックセンター三階A会議室。詠草は各二首十首。出席者二名（市川茂子、松井淑子）。

おとめ子の頬さするがに両手にし温室栽培の桃を戴く

市川茂子

上句丁寧。温室栽培で、今のおとめ子ということになる。スーパーでも桃はみて買うことになる。余り触れてはいけない。頬さするがに、がいかに市川さんか。

ゆき過ぎしのち匂いたる「定家葛」逝きにし人の面影の頭つ

林 博子

空気がうごくからか、ゆきすぎてから気付く匂いもある。定家葛、読み、また表記も「ていかかずら」がある（キョウチクトウ科）。逝きにし人とは誰だろう。伝説からは式子内親王が連想されるが、歌友でもある人か。何か触発するものがあつたのだ。定家葛で、あるニユアンスが加わった。

六十にて引退されるとききし君殺められしは我より若き

中川 禮子

君はまだ引退前なのか。君はどういう人か。いずれにしても、何か事件で命を落としたのだ。結句、没年齢が記憶される。

どこよりもこの構内のみちにあう山本さんとまた話し込む

小野澤繁雄

そういう人はいる。その上で、あうたびに話し込むことになるのだ。ある、そう重くない人の関係のしかた。

陸鹿尾菜の<sup>をかひじき</sup>パスタ食べれば山形は桜ん坊の色づく季節

布宮 慈子

陸鹿尾菜は、ヒジキのような緑の野菜だという（アカザ科）。茹でて辛子醤油で食べる、とい

うが、庄内・鶴岡のレストランで陸鹿尾菜のパスタが出ていたという。山形のサクランボは全国区のものだが、色づくという。どんな風景だろうか。桜ん坊、の文字づかいがいい。

### 東京歌会（第五十七回）

七月二十日（木）、会場・文京シビックセンター三階B会議室。詠草は各一首十四首。出席者五名（市川茂子、大石久美、林博子、丸山弘子、松井淑子）。

ブルーベリーに足長蜂の巣があれば守らむとして飛ぶ五、六匹

布宮 慈子

四句に、蜂のいとなみとして、肯定感がある。ブルーベリーの実のために、巣を何とかしたいのだが、別な一首では、すでに手のひらを刺されている。これもやりとりだが、活写されている。

芹ヶ谷の崖のなだりのさくら花吐息のごとく昼日中散る

大石 久美

地名からは、谷筋で、そうして崖のなだりというところ。春の昼日中でもある。この歌自体が、まず吐息のごとく詠まれたようだった。そこには、思い出と思いつく境地と、両方がある。

看板がまさかに店より大きいか名代富士そばダイタングループ

小野澤繁雄

立ち食いそばのチェーン店。店構えは小さい。看板は、駅近くでは競合するようなところ、大きくなりがちだ。グループ名があった。気付かないような名だった。

無作為の秩序なるべしハチ公前スクランブル交差点の人間の距離

林 博子

ハチ公前スクランブル交差点は話題の場所で、映像でみることも多い。外国人の視線なのだが、作者は、「無作為の秩序」といつてみた。同時に、それは人間の距離のことなのだが。人間を、ここでは、人（の）間（じんかん）と解いている。

原因のわからぬままに紫陽花の今年は咲かず葉の繁りおり

市川茂子

剪定の仕方だろうか、との声あり。ただそのままに詠ったようだが、こういうことはほかのことでもあるので、共感がある。

池にそひひとびと静かにゆきかへる松に松毬空に織月

中川禮子

影絵のような世界。松毬（まつかさ）は球果、松ぼっくりのこと。

月曜日は古布回収の日時かけてわが手に成りしスーツも捨てる

丸山弘子

時かけてわが手に成りし、が丁寧。一つの思い。